

# News Letter

vol.16  
2023 spring

男女共同参画推進課・女性活躍総合研究所

ミモザの花

文部科学省科学技術人材育成費補助事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)



## 男女共同参画推進課 CONTENTS

- ◆子育て支援について
- ◆男性教職員の子育て交流会開催報告
- ◆研究支援員制度について
- ◆女性活躍給付金審査結果について
- ◆子育て・介護・働き方相談窓口のご案内
- ◆授乳室・こども図書のご案内

## 女性活躍総合研究所 CONTENTS

- ◆部門再編成のお知らせ
- ◆SOAR等、後期活動報告
- ◆卒業生座談会開催報告
- ◆各部門活動実施報告
- ◆ひょうご理系女子未来塾は名称変更します
- ◆国際女性デー MUKOJO フォーラム開催報告

女性活躍総合研究所  
開設記念「第3回国  
際女性デー MUKOJO  
フォーラム」を開催し  
ました。



登佐 直美 附属保育園長

## MESSAGE

私が保育士として働き始めた頃、女性は短時間勤務が多く、保育園の送迎のほとんどがお母さんでした。迎えに来られる時間帯も16時30分頃がいちばん多く、保育園が閉まるのも18時でした。やがて延長保育が始まり、現在の認可保育園では19時迄が主流になっています。

長時間勤務の女性保護者が増え始め保育施設の需要が多くなると同時に子どもの保育時間も長くなりました。附属保育園でも平均の保育時間は10時間前後、長い方では11時間を超えてお預かりしています。男性保護者の育児参加が増え、送迎時にはお父さんの姿が多く見られます。保育参観や懇談会には積極的に参加され、帰宅してからは家事を分担されているご家庭も多いです。

女性の社会進出が進み、出産後も働き続けられる社会へと日本は少しずつ変わってきたにもかかわらず、少子化が進んでしまったのはとても残念なことです。女性の社会進出が少子化の加速に関係しているという考えや、正規

雇用が長時間労働になりやすい現状を改善する為にも、妊娠・出産・育児には社会からのサポートがあり、職場でのキャリアも継続することができるような「働き方改革」が今こそ必要だと感じます。

附属保育園に通う子どもたちが大人になった頃、誰もが自分らしく幸せに生きることができる社会になっていることを切に願います。

## VOICE

VOICEとは…働き方・子育て・介護等について、教職員の方の  
日頃感じていることや体験談をご紹介します。

和泉 京子先生  
(看護学部看護学科)

わが家は5人家族。娘二人がいてにぎやかな生活でしたが、大学に入り下宿を始めたので義母と夫婦の静かな毎日です。89歳になる義母は、女学校卒業後にOSK日本歌劇団に所属経験があるなど社交的で、毎日のように友人とお出かけをしていました。しかし、数年前より、物忘れが多くなり、身の回りのことを行うのが難しくなってきました。



2月の東大寺、義母と長女

現在は、直前の記憶も曖昧な状況ですが、「パッパラパーのパーになったわ〜」と頭の横で手をパーにして笑う義母や、「おボケやから〜」とつこむ娘を見て、認知症になってもその人や関係性は変わらないものなのだ、と気づきがあります。日々、食事や着替え等の声かけを夫と行い、見守り、生活リズムや環境を整える、というゆるやかな介護をしつつ、介護保険の要介護2の認定をいただき、デイサービスを利用しています。

今後は身体介護も必要になりそう、と心配していた折に、男女共同参画推進室より介護セミナーの案内があり、参加させていただきました。また、令和5年度より、研究支援員制度を利用させていただきます。子育てと同様に、介護も多くの方に支えていただけることをありがたく思っています。



ラビークラブの利用について

本学では、教職員と学生の皆さまに、子育てと仕事・学業の両立支援を目的とした学院内の一時預かり保育ルーム「ラビークラブ」を運営しています。満1歳～12歳（小学6年生）までのお子さまを対象に、土日祝を問わず仕事・学業がある場合に利用できます。【定員5名】

委託先の株式会社ポピンズファミリーケアは、年齢に合わせた細やかな保育が好評です。利用申込は利用日2日前（土日祝を除く）の15時までとしていますが、初めてのご利用には事前の登録手続きが必要です。詳細は、ホームページまたは男女共同参画推進課までお問い合わせください。

昨年6月より、オープンキャンパス参加者がラビークラブを利用できることになりました。今後、オープンキャンパス参加予定者よりラビークラブ利用の希望がありましたら、まずは男女共同参画推進課へご相談ください。

利用料（基本料金）

	登録料 / 年度	利用料 / 時間
年度会員 (教職員)	5,000 円	1,000 円
年度会員 (学生)	2,500 円	500 円
都度利用		1,850 円

ラビークラブ利用実績

	利用人数
2020 年度	131 名
2021 年度	9 名
2022 年度	23 名

2023,3,27 現在



ナニーさんとフワフワボールでキャッチボール



非難訓練の様子

ベビーシッター利用支援について

ベビーシッター法人契約

本学は、教職員の子育てと仕事の両立を支援するため、株式会社ポピンズファミリーケア（本学ラビークラブ委託業者）と法人契約を結んでいます。

●利用対象

0歳～小学6年生の保護者である本学教職員（私学共済加入者）でひとり親家庭、または配偶者の就労、病気療養、求職活動、就学、職業訓練等により、サービスを利用しなければ就労（職場への復帰を含む）が困難な状況にある場合

●特典

- ①入会金・年会費が無料
- ②基本利用料の割引
- ③24時間Webでの予約が可能

ベビーシッター割引券利用実績

	利用人数	利用枚数
2020 年度	3 名	153 枚
2021 年度	3 名	199 枚
2022 年度	7 名	529 枚

2023,3,27 現在

ベビーシッター派遣事業割引券

本学は、内閣府が実施する「ベビーシッター派遣事業」の助成を受けています。

●対象者

本学教職員（私学共済加入者）で小学3年生まで\*の保護者

\*身体障害者手帳または療育手帳の交付を受けている児童の場合は、小学6年生まで

●使用条件

- ①利用料金が1回につき2,200円以上のサービスを対象とします。
- ②割引券（2,200円）を対象児童1人につき1日（回）2枚、1家庭につき1か月24枚・年間280枚まで使用可能。
- ③職場への復帰のためにサービスを利用する場合は、1家庭1日（回）につき1枚、年度内に4枚以内、使用可能。



全教職員対象「メンタルヘルス研修」 2022年12月26日（月）・2023年1月20日（金）・30日（月）

【主催】 人事部人事課

【共催】 男女共同参画推進課、健康サポートセンター、人権教育推進委員会、SD推進委員会

心の健康を維持したり効果的なストレス対策をとるため、全教職員対象に「メンタルヘルス（セルフケア）」の研修を開催しました。ストレスに押しつぶされそうになった時どうするか、ストレスにどう対処するか、ストレスを受けない・かけないためにはどうすればよいか、といったストレスと付き合う方法について説明がありました。

研修を受講した職員からは「自分自身のメンタルヘルスが職場の同僚や部下等にも影響を与える場合があると考えると、決して自分自身だけの問題ではないことを再認識する良い機会となった。」等の声が聴かれました。

（受講者数 3回 合計 288名）

【講師】 日本産業カウンセラー協会関西支部 野村 起世 氏

【内容】 ・メンタルヘルスの重要性

・ストレスマネジメント

・より良いコミュニケーションについて



3月7日のお昼休みに「ランチタイムミーティング～男性教職員の子育て交流会」を開催しました。アドバイザーとして出席された男女共同参画推進室専門員の高井弘弥先生（教育）と中村明美先生（教育）を囲んで終始和やかに交流が行われました。高井先生に当日の様子をお伺いしました。

今回は、会議等と重なってしまったようで残念ながら教員にはご参加いただけませんでしたが、各部署から5名の男性職員にご参加いただきました。お子さんの年齢は乳児から中学生までと様々でしたが、皆さん職務にも育児にも非常に熱心に取り組んでおられる方ばかりで、本当に感心しました。たまたまですが、本学にお越しになる前に幾つかの社会経験をお持ちの方ばかりでしたので、幅広い視点から本学の育児サポートについて貴重なご意見を伺うことができました。どの部署でも、育児などの家庭生活と仕事との両立については非常に理解があり、とても温かい雰囲気であるとのこと、転職してきてよかったという言葉をいただき、とても嬉しく思いました。

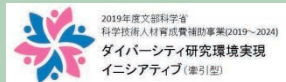


もちろん、さらに良くしていくためのご提案もたくさんいただきました。例えば、ベビーシッター利用補助やラビークラブ、お子さんが病気の際の看護休暇制度について、存在は知っていても詳しい利用方法などはまだまだ周知されていないなどが指摘されました。もっと気楽にお使いいただけるような工夫が必要かもしれません。また、看護休暇を利用された方からは、非常にありがたい制度であるが、就学後の子どもにも使えばありがたいとのこと意見がありました。

さらに、今後のことを見据えた介護休暇や、お子さんだけでなく配偶者の急病など緊急な場合についても、休暇などのサポートだけでなくより使いやすくなるような、本学独自のサポートに関する具体的ご提案もありました。これら以外にも、子どもたちに親の仕事を知ってもらう機会としての職場見学デーがあるといいね、などの話題にも広がりました。こういった現場の生の声を聞かせていただくと、まだまだ課題はあり、さらに学院全体の働き方改革につながる方策があることに気づくことができ、とてもよい機会になりました。次回は、教員も参加しやすい日程で企画していければと思います。

ご参加いただいた皆さん、本当にありがとうございました。

(男女共同参画推進室専門員 高井弘弥)



研究支援員制度は、出産・育児・介護・看護に関わる研究者や女性管理職の研究活動を支援するため、研究支援員を派遣する制度です。2013年度から運用をスタートし、募集は年2回（12月下旬に次年度募集、7月下旬に後期募集）実施しています。

#### 2022年度ご利用者（延べ人数）

学 科 別：英文1、教育1、健康2、環境1、食物3、情報1、薬学1、看護1、研究所1  
申請理由別：育児9、介護2、女性管理職1  
性 別：女性11、男性1

2022年度から、1事由につき最長5年までの利用制限や、定員を「出産・育児・介護・看護」10名、女性管理職2名と定め、できるだけ多くの研究者にご利用いただけるようにしました。

男女共同参画推進課では、可能な限り個別のご事情にお応えできるよう、引き続き制度の改善に努めています。

2023年度の前期募集は終了しましたが、急なご事情で研究支援制度を希望される場合は、男女共同参画推進課にご相談ください。



本制度は、武庫川学院創立80周年記念事業として行った「夢と虹基金」を原資とし、令和元年度に制定されました。自らの夢の実現に向かって取り組み、その文化的活動が顕著であると社会的に高く評価された本学の卒業生に「褒賞金」を、学生・生徒に「奨学金」を給付することで、幅広く優れた女性の活躍を奨励します。

令和4年度の募集では、個人3件・団体1件（卒業生0・学生4）の応募がありました。慎重に審議いたしましたが、残念ながら今回は採択者はありませんでした。ご応募いただいた皆様ありがとうございました。

申請条件は、以下の通りです。

- 1.褒賞金：世界又は国レベルの評価を得た卒業生の活動とし、他薦・自薦を問わない。  
(原則として、日本内閣府春秋叙勲受章者・褒章受章者及び産業・文化・社会事業など各界功労者以上の活躍、若しくはそれと同等の評価を得るに相応しい活動実績が認められた卒業生)
- 2.奨学金：文化的活動（文化芸術分野のみならずボランティア活動等も含む）若しくは学術研究活動で、世界・国レベルで評価された在学学生。自薦に限る。

男女共同参画推進課

子育て・介護・働き方相談窓口のご案内



中尾 賀要子先生  
(教育研究所)



金谷 志子先生  
(看護学科)

些細なことでもお気軽に  
ご相談ください

★学外相談員



高井 弘弥先生  
(教育学科)



中村 明美先生  
(教育学科)



★[働き方相談員]  
大山 富美子氏  
元男女共同参画  
推進課長



★[介護相談員]  
濱淵 美保子氏  
社会福祉事務所  
京都八条代表役員  
ケアマネージャー



★[介護相談員]  
淡路 和孝氏  
社会福祉士・介護支援  
専門員福祉住環境  
コーディネーター1級



★[子育て相談員]  
森田 恵美氏  
元寝屋川市立保育園所長  
寝屋川市立こどもセンター  
にて育児相談を担当



★[子育て相談員]  
大槻 伸子氏  
教育学科非常勤講師  
元附属保育園長

子育て・介護・働き方の悩みや不安を、ひとりで抱え込んでいませんか？  
学内相談員（4名）または学外相談員（子育て相談員2名、介護相談員2名、  
働き方相談員1名）が相談をお受けします。【個別相談・無料】  
オンライン（Zoom）でのご相談も可能です。  
また、ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ【牽引型】の代表校である  
奈良女子大学の相談窓口（産婦人科相談）を無料で利用できます。

ご希望の方は、男女共同参画推進課までお問い合わせください。

【相談窓口専用メールアドレス】gsodan@mukogawa-u.ac.jp  
【電話】0798-45-3542（内線：2900・2910）

教職員だけでなく大学院生・学生  
の皆さんもご利用いただけます。  
お気軽にご相談ください。

（相談内容は秘密厳守です。）



相談員の紹介は  
こちらから

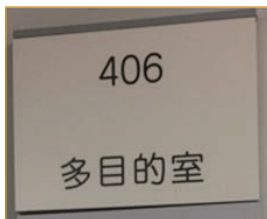


男女共同参画推進課

授乳室・こでまり文庫のご案内

○ 授乳室のご案内 ○

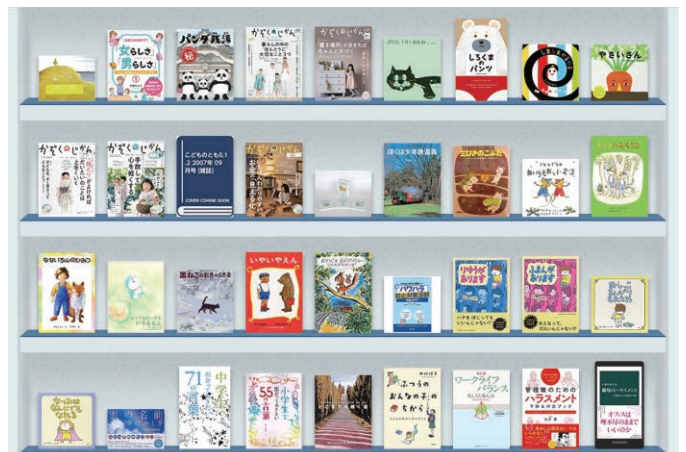
本館4階の多目的室を、授乳室としてご利用いただけます。  
職場復帰前に大学へお越しの際など、ご利用を希望される方  
は、事前に男女共同参画推進課までご連絡ください。



○ こでまり文庫 ○

絵本や児童書などの書籍やおもちゃ、これまでに実施した  
統計学セミナーのDVDを揃えており、本学教職員・学生を対象  
に貸し出ししています。

ご希望の方は、男女共同参画推進課までご連絡ください。  
【平日9:00～17:00】



「こでまり文庫」の本棚  
<http://booklog.jp/users/mukobook>

これまでの女性活躍推進部門と、女性生涯キャリア支援部門の2部門を統合して部門名を「**生涯活躍推進部門**」に変更します。また、「**ジェンダー平等推進部門**」という新たな部門が誕生します。

グローバル化推進部門

ダイバーシティ化推進部門

次世代女性人材育成部門

**生涯活躍推進部門**

**ジェンダー平等推進部門**

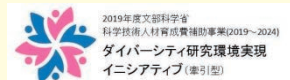
男女共同参画、組織や働き方の多様化と女性の生涯にわたるキャリア形成に関する研究シーズを開拓する

ジェンダー平等に関する研究と推進及び女性のウェルビーイングの維持と向上に資する本学教育体系の提案と開発を行う



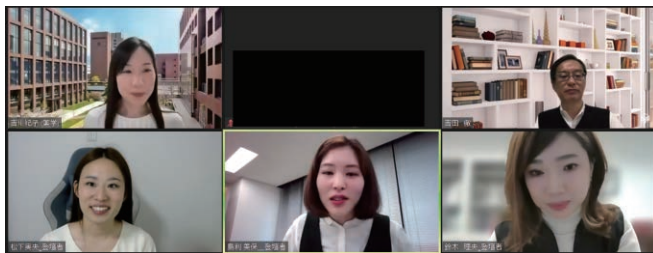
今年度よりスタートした「MUKOJO 未来教育プログラム SOAR」をはじめ、各部門による研究、イベント、啓発活動を行いました。

- 共通教育「SOAR 人生100年をきり拓く力」後期：受講生1年36名、2年34名、3年24名、4年6名、計100名。
- 9月21日（水）5限 キャリアセンター「わたしプロデュース！」に講座を提供。「女性のからだを知る～身体の変化を慈しみ、幸せな人生を過ごすために～」高島桂子先生（たかばたけウイメンズクリニック理事長）
- 9月30日（金）「性教育セミナー」：「スマルナ医療相談室」より下青木彩氏を講師に迎え、学生・教職員24名が参加。
- 12月23日（金）研究所紀要第1号発行：紙の冊子を発刊しておりますが、図書館リポジトリでも閲覧可能です。
- 2月17日（金）特別学期におけるSOAR導入講義開講。
- 11月12日（土）第2回武庫女ビジネスアイデアコンテスト表彰式（協賛）：なぎなたをエンターテインメント化するアイデアをプレゼンした大城亜海さん（健康・スポーツ科学科3年）がSOAR賞を受賞。
- 3月8日付朝日新聞取材記事掲載「『一生を描ききる女性力を。』について考えた」：SOAR授業および導入講義を受講した3名の学生と高橋享子所長が、インタビュー取材を受け記事になりました。



### 6th Alumni Roundtable Discussion: Real Life of Globally Active MWU Graduates Institute for Women's Career Advancement and Gender Equality Development Online Seminar

date: October 22nd, 2022



#### Description:

Real world stories about international business, bilingual education, pharmaceutical practices, and cultural understanding were shared in this year's 6th Alumni Roundtable discussion. Four MWU graduates fueled discussion topics with their knowledge and advice on the educational goals that helped them develop their human resource skills. Each alumna spoke about valuable experiences in their current professional work setting or research pursuits. They addressed their language learning strategies and efforts to develop their English communication skills. The Q & A time highlighted the reality of work / life balance, including the struggle of working online during COVID and adapting to current work conditions. A motivational motto was shared at the end of the two hours by each graduate as a positive message for current MWU students and faculty that joined the presentation. Thanks to Miho Shimatoshi (Department of Health Life and Pharmaceutical Sciences), Yuka Konishi (Department of English and Culture), Rio Suzuki (Department of Information Media and Life Environment), and Mio Matsushita (Department of English and Culture) for describing their passion and challenges as globally active women.

(グローバル化推進部門 アニータ L. エイデン)



統計学セミナー「調査研究データの多変量解析」 波多江 崇先生 (中国学園大学 教授)

基礎から始めた統計学セミナーは第4回目となり、データを使った多変量解析の理論と実践に入ります。多変量解析には、研究の目的やデータの種類により多くの種類がありますが、今回は重回帰分析、数量化Ⅱ類について Excel 統計を使い実践的に学びました。

セミナーは毎回好評で今回も教職員をはじめ、大学院生も参加しました。また、セミナー参加者には共同研究に発展する内容もあり、有意義なセミナーとなりました。



異分野交流カフェ 中野 邦彦先生 (本学情報メディア学科)

学内の教職員の中から新しい研究のタネを見つける場所として、毎年研究交流カフェを開催しています。今回のテーマは「地域研究」です。自治体と協働して、地域の活性化につながる研究テーマを発掘し、成果を上げられてきた中野邦彦先生(武庫川女子大学情報メディア学科)にご研究・活動内容、自治体との連携の方法などをご発表いただきました。後半は車座になって、共同研究を進めるうえでのアプローチ法や課題などについて情報を共有しました。

(女性活躍推進部門 宇野 朋子)

本年度は、毎年恒例となっている英語コミュニケーションセミナーを、文化祭期間中の令和4年10月9日に開催しました。セミナーは、「15分間の英語発音+口語文法のミニ講義と、15分間の英会話エクササイズ」と題し、文化祭来場者が自由に入出りできるようショートプログラムを何度か繰り返す工夫を行いました。

当日は重い雲がかかるなか、予想に反して多くの学内外からの来場者が立ち寄られ、短い時間でしたが、束の間の英語コミュニケーションを楽しんで頂きました。前半の発音と文法の導入講義に続いて、後半の英会話エクササイズでは、軽快な音楽に合わせてスタッフが来場者の中に入り、英会話を始めることを促す場面もありました。



今回の英語コミュニケーションセミナーは、昨年度から着手していた英会話教本の内容をベースとしたものになりますが、その成果は「若手研究者のためのインフォーマル英会話ハンドブック」の正式版としてリリースしますので、ここに合わせてご報告致します。無料でお配りしておりますので、ご興味がおありの方は、女性活躍総合研究所まで是非お立ち寄りください。

(グローバル化推進部門 吉田 徹)



関西圏女子大学「異分野交流会」を、主催校の奈良女子大学で対面とオンラインのハイブリッド形式で共同開催しました。本取り組みは、武庫川女子大学・奈良女子大学・神戸松蔭女子学院大学の3大学が中心となり2016年のキックオフ交流会から始まり、11回目を迎えた今回は学生、教職員35名が参加しました。

当日は異なる分野から計8題の発表があり、本学からは、田中真由美氏(文学部英語文化学科)、藤井善仁氏(経営学部)の2名が研究発表を行いました。発表後は2グループに分かれて交流を深めましたが、基礎研究と人を対象とした研究、あるいは、文系と理系という異分野の研究者が交流する機会となりました。

久々の対面でのグループワークで大いに盛り上がり、異分野ならではの気づきが生れるとともに、共同研究の萌芽が生れる貴重な機会となりました。

(ダイバーシティ化推進部門 福尾 恵介)

「ひょうご理系女子未来塾」では、小学生を対象としたワークショップや中学生を対象とした出前授業、高校生を対象とした産学連携活動など多様なプロジェクトを実施しました。ワークショップでは、スライムづくりやボトルづくりを行い、実験することの面白さを親子で感じてもらいました。また、出前授業では企業や大学に所属する講師が、仕事の内容や文理の選択を含む仕事に就くまでの道のりなどを紹介し、将来の進路選択の参考になるような講座を実施しました。来年度から「ひょうご理系女子未来塾」は「MUKOJO ミライ☆ラボ」に名称を変更し、さらに活動を充実させていく予定です。

- 【ワークショップ】親子ワークショップ「色が変わる ふしぎなスライムを作ろう！」  
親子で楽しむ☆わくわくワーク「マープルしおりづくり」、「キラキラボトルづくり」
- 【出前授業実施校】西宮市立学文中学校・浜脇中学校・上甲子園中学校、芦屋市立精道中学校
- 【産学連携活動の参加機関】ネスレ日本株式会社、西宮市立西宮高等学校



(次世代女性人材育成部門 長谷川 裕紀)

2023年4月から  
「MUKOJO ミライ☆ラボ」  
に名称変更します。



「キャリア支援セミナー」

2023年2月22日(水)、3月8日(水) 開催報告



2019年度文部科学省  
科学技術人材育成費補助事業(2019-2024)  
ダイバーシティ研究環境実現  
イニシアティブ(牽引型)

2月22日「エクセルVBAセミナー」 谷脇幸子講師(武庫女OG)

VBAの概念、エクセルマクロとの比較、利用シーンについて説明して頂いた後に、実際に参加者全員がVisual Basic Editorの起動方法から基本コードの入力を通じて、VBAの使い方の基本を学びました。「課題の提出状況をダウンロードしたCSVファイルから成績表に転記する」作成手順や作成コードを教えて頂き、実践で使えるVBAへの理解を深めました。参加者からは「基礎的なところから学ぶ機会があり、非常に役に立った」などの感想が聞かれました。



3月8日「Python入門セミナー」 谷脇幸子講師(武庫女OG)

プログラミングとは何か、何ができるのか?について説明して頂いた後に、実際に参加者全員がPythonの基本コードの入力方法や、ライブラリを活用したデータ収集、エクセルとの連携について学びました。「テンプレートファイルを学部の数だけコピーする」といった、実務に応用しやすいテーマの作成手順や作成コードを教えて頂きました。参加者からは「説明がとてもわかりやすく、プログラミングを学ぶ良いきっかけになった」などの感想が聞かれました。

(女性生涯キャリア支援部門 高橋 千枝子)

令和4年度  
研究者支援経費プログラムの採択者が全て決定しました



2019年度文部科学省  
科学技術人材育成費補助事業(2019-2024)  
ダイバーシティ研究環境実現  
イニシアティブ(牽引型)

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)事業における4つの研究支援経費のうち、以下のプログラム採択者が11月までに決定し、今年度募集した4つのプログラムの選考が全て完了、研究に取り組んでいます。

研究支援プログラム名	支援額	研究者(代表者)	研究課題名
異分野交流会 共同研究スタートアップ支援費	30万円	吉田 都(薬学部)	嚙下機能評価のためのウェアラブル 生体情報計測システムの開発



「第3回国際女性デー MUKOJO フォーラム」を女性活躍総合研究所設立記念として開催しました

女性活躍総合研究所は、学院創立80周年を記念して令和2年4月に開設しました。コロナ禍が始まり見合わせておりました設立記念を、今回の国際女性デー MUKOJO フォーラムと併せて行いました。テーマは「女性が自分らしく活躍できる社会の実現」とし、対面・オンラインの同時開催で、学生、教職員はじめ、卒業生、一般の方など、60名以上の方々にご参加いただきました。

【第1部】基調講演

- ①「誰もが輝く社会を目指して～徳島県の男女共同参画の取組み」  
勝野 美江氏 (徳島県副知事)
- ②「大学の風景を変えようー女性活躍を推進するためにー」  
高橋 裕子氏 (津田塾大学学長)



勝野氏

【第2部】パネルディスカッション

「大学や社会でジェンダー平等の実現に向けて何をすべきか」

- ◇パネラー：勝野 美江氏 (徳島県副知事)  
高橋 裕子氏 (津田塾大学学長)  
河合 優年氏 (本学副学長)
- ◇ファシリテーター：高橋 享子 (女性活躍総合研究所長)



高橋氏

第1部の基調講演を聴いた会場出席者から寄せられた質問に基づき、活発な意見交換が行われました。男性の多い場に女性を増やすことと女性の強みを伸ばすことは二律背反ではないといった話題に、参加者はメモを取りながら熱心に聴き入っていました。

【第3部】エッセイ最終選考者スピーチ・表彰式

「生涯キャリアデザインを考える」

昨年10月より原稿を募集し、当日は二次審査まで進んだ3名のうち2名(1名体調不良により欠席)が最終選考者スピーチを行い、最優秀賞1名、優秀賞2名が決定しました。(敬称略、同順位は五十音順で記載)



部門	最優秀賞	優秀賞	優秀賞
大学	山村 さつき (文学部英語文化学科3年)	西出 紅瑠実 (薬学部薬学科4年)	安田 光沙 (経営学部経営学科1年)

参加者アンケートには「基調講演で具体的な政策、提言が聞けた」「刺激的だった」「活発な意見交換が聞けてよかった」「学生さんのスピーチが素晴らしいかった」などの感想が寄せられ、中には「全学生、全教員に聞いてほしい」という、熱いご意見もありました。



【男女共同参画推進課 HP】



【女性活躍総合研究所 HP】



学校法人武庫川学院 武庫川女子大学

男女共同参画推進課

TEL : 0798-45-3542

FAX : 0798-45-3535

Mail : gsankaku@mukogawa-u.ac.jp

令和5年4月～  
人事部  
男女共同参画推進課

〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46 本館4階 407号室

女性活躍総合研究所

TEL : 0798-45-3737

FAX : 0798-45-3535

Mail : iwcareer@mukogawa-u.ac.jp